

令和3年度奈良県教育課程研究集会

中学校

技術・家庭（技術分野）

技術・家庭（技術分野）における ICTの活用について

令和3年8月

奈良県教育委員会事務局学校教育課 高校教育第二係

指導主事 乾 祐士

技術分野においてICTを活用するねらい

ICTがもつ「特性」や「強み」を生かした学びを通して

○「情報活用能力」を育成する。

情報活用能力とは、世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉えて把握し、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力とされている。

○「技術分野の学び」をより確実なものへと、主体的・対話的で深い学びの視点から改善する。

ICT活用による技術分野の

「主体的・対話的で深い学び」とは

主体的な学びとは

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。

ICT活用による技術分野の

「主体的・対話的で深い学び」とは

対話的な学びとは

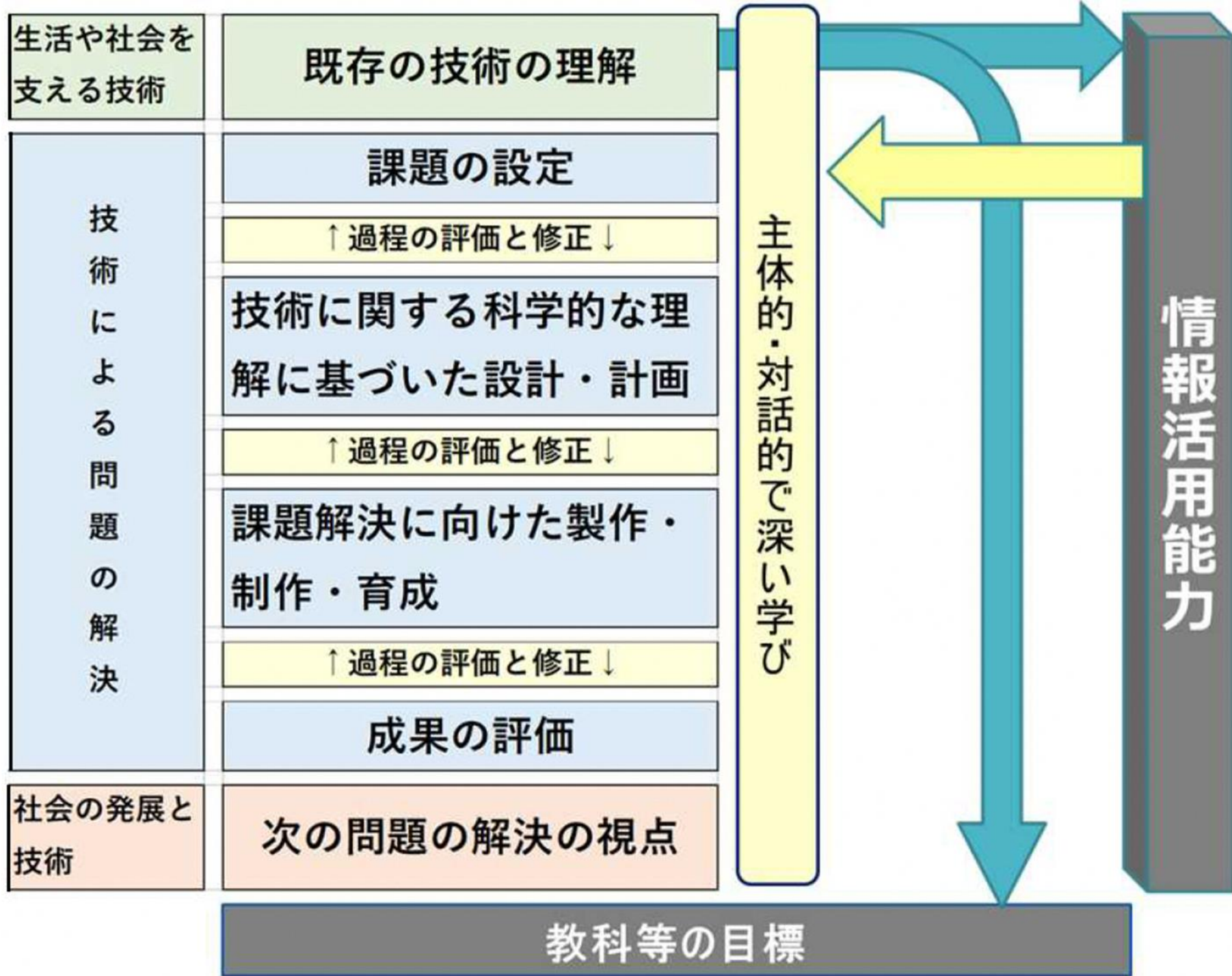
子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。

ICT活用による技術分野の

「主体的・対話的で深い学び」とは

深い学びとは

習得、活用、探究という学びの過程の中で、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう。



- ・問題解決学習とICT

簡単に設計、製作ができる。

いつでもどこでも記録、作成ができる。

動画で生徒を支援する。

- ・ポートフォリオ評価とICT

振り返りが容易にできる。

生徒の実情を把握しやすい。

令和3年度奈良県教育課程研究集会

中学校

技術・家庭（技術分野）